

やすらぎ通信

第79号（平成29年6月1日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

水無月(みなづき)



(大阪市東住吉区・大阪市立長居植物園大池(ハス))

<目次>

季節を愛でる	・・・P.1
今月・来月の催し	・・・P.2
管理栄養士のコーナー	・・・P.6
今月のきらりさん	・・・P.7
NEWS	・・・P.8

掲示板	・・・P.8
地域の医療機関の皆様へ	・・・P.10
今月の風景	・・・P.12
編集後記	・・・P.12

病院の庭に咲く紫陽花が、雨を受けて生き生きとしています。青空をなかなかみることのできないこの時期に「青」を感じさせてくれる紫陽花は、どこか嬉しいものです。

梅の実が熟す頃に降る長雨のことを「梅雨(つゆ・ばいう)」と言いますが、梅の実が青色から黄色へと熟すことから、「青梅雨(あおつゆ)」、「黄梅雨(きつゆ)」という言葉もあります。梅雨期の長い日本には、雨にまつわる言葉がたくさんあるのです。「梅雨入り(つゆいり)」は、「ついり」とも言いますが、「栗花落(ついでり)」と書く事もあります。栗の花が落ちる頃と梅雨入りが重なることから、この字があてられました。「糸雨(しゅう)」とは、糸のようにしとしとと降る雨。また、雲間の太陽に輝きながら激しく降る雨を「銀竹(ぎんちく)」と呼ぶそうです。

新緑の青葉をつやつやと輝かせる雨は、田畑を潤す恵みの雨であり、いにしえより人々の命を支えてきました。各地で五穀豊穡を祈願する田植まつりが催されますが、住吉大社でも、6月14日には御田植神事が行われます。これほど盛大で歴史のあるものは珍しいようで、国の重要無形民族文化財に指定されています。

さて、この時期、水をたたえた田んぼや用水路、河川などの水辺の草むらを飛び交う生き物と言え、蛍ですね。今年の蛍の初見は、全国的に例年より早くなる見込みだそうです。近年、環境の変化から、蛍が見られる場所は少なくなりましたが、平安時代には、藤黄(とうおう)のほのかな光を点滅させて飛ぶ蛍の姿に儂い思いを重ね、恋の象徴として和歌などにたびたび詠まれました。冒頭で紹介した夏目漱石の俳句は、正岡子規に宛てられた書簡にあったものだそうです。「蛍狩り」は、蛍を捕まえることではありません。「狩る」という言葉には、鳥獣などの動物を捕らえるという意味のほかに、観賞するために尋ね探すという意味がありますね。蛍が飛び交う幽玄で幻想的な光景を楽しんでおられたのでしょうか。足元を気にすることも忘れて、無邪気に蛍を追いかけておられたのか、それとも、美しさに引き込まれたのでしょうか。わずか2週間の命を懸命に生き、命をつなぐ蛍を応援しようと、水質を改善したり、農薬を減らして、蛍の幼虫の餌となるカワニナを増やしたりと、各地で蛍を守るための取り組みが進められています。

初見の蛍を「初蛍(はつほとる)」と言いますが、この名の付いた和菓子があります。黄身餡を葛生地で包み、蛍が淡い光を放つさまを表わした趣あるお菓子です。そして、6月を代表する和菓子と言え「水無月(みなづき)」です。6月の晦日、1年の折り返しとなるこの日に無病息災を祈願して食べられます。「水無月」は外郎(ういろう)生地以小豆をのせた三角形のお菓子ですが、上部にある小豆は悪魔払いの意味があり、三角の形は暑気を払う氷を表していると言われています。

病院では、今月も楽しい講談やコンサートを企画しています。また、病気をわかりやすく説明し、予防していただくためのセミナーも開催いたします。是非ご参加いただき、ご一緒に無病息災を実践いたしましょう。



今月・来月の催し

【第46回 万代・夢寄席「旭堂小南陵 初夏の講談会」】

日時 6月5日(月) 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
出演 旭堂 小南陵 氏
入場料 無料



【すこやかセミナー「人は血管とともに老いる ～動脈瘤ってどんな病気?～」】

日時 6月8日(木) 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
講師 心臓血管外科主任部長 白川 幸俊
参加費 無料

【府民公開講座「増えてます!乳がん ～診断・治療をわかりやすく～」】

日時 6月10日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)
場所 本館3階 講堂
講師 乳腺外科診療主任 田渕 由希子
参加費 無料

【第12回 肝臓病教室】

日時 6月17日(土) 午前10時～12時(午前9時30分受付開始)
場所 本館3階 講堂
内容 脂肪肝はあなどれない 消化器内科部長 春名 能通
脂肪肝について ～知っておきたい食事・栄養のこと～
管理栄養士 山根 泰子
肝臓をシェイプアップ!! ～脂肪肝の運動療法～ 看護師
参加費 無料



【森ノ宮医療大学連携 平成 29 年度第 1 回 市民公開講座「心不全」】

日 時 6 月 18 日 (日) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 (受付 午後 1 時～)
場 所 森ノ宮医療大学 (地下鉄中央線コスモスクエア駅下車②番出口)
内 容 心不全—診断と治療～最近の進歩～

心臓内科主任部長 山田 貴久

心臓病と看護

森ノ宮医療大学 看護学科 准教授 久木元 由紀子 氏

心臓リハビリテーション

森ノ宮医療大学 理学療法学科 教授 堀 竜次 氏

心臓病と検査

森ノ宮医療大学 臨床検査学科 教授 脇 英彦 氏

参加費 無料

定 員 100 名 申込不要

【第 24 回病院ギャラリー企画展 『田中 一光 ポスター展』】

開催期間 6 月 19 日 (月) ～9 月 15 日 (金)

展示場所 本館 2 階 病院ギャラリー

展示作品 26 作品

6 月 27 日 (火) 午後 1 時 30 分から学芸員による作品説明会 (約 20 分) を病院
ギャラリーで開催 (参加費無料) しますので、ご参加ください。

なお、第 23 回病院ギャラリー企画展『大阪版画コレクション展』は 6 月 16 日
(金) までとなっています。

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施して
います。

【相愛大学連携 第 71 回 外来糖尿病教室

知って得する！糖尿病との付き合い方】

日 時 6 月 21 日 (水) 午後 2 時～3 時

場 所 本館 1 階 アトリウム

内 容 糖尿病の飲み薬 ～いろいろあるけど、わかりますか？～

糖尿病内分泌内科診療主任 藤田 洋平

頸動脈エコーの話 臨床検査技師 藤田 武

気をつけたい外食 管理栄養士 隈元 理香

参加費 無料



【すこやかセミナー「膠原病ってどんな病気？」】

日 時 6月23日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 免疫リウマチ科診療主任 吉田 祐志
参加費 無料

【第54回相愛大学連携コンサート「オーボエ」】

日 時 6月27日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 橋爪 惠梨香氏
入場料 無料



【すこやかセミナー

「脳の病気やケガによる『高次脳機能障がい』をご存じですか？」

日 時 7月13日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 リハビリテーション科副部長 山中 緑
参加費 無料

【第47回 万代・夢寄席「太神楽」】

日 時 7月18日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 豊来家 玉之助氏
入場料 無料



【相愛大学連携 第72回 外来糖尿病教室

知って得する！糖尿病との付き合い方】

日 時 7月26日(水) 午後2時～3時
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 糖尿病の薬 ～体調が悪い時の対応について～

糖尿病内分泌内科医師 畑 雅久
理学療法士 長島 健太郎
管理栄養士 笠井 香織

参加費 無料

【すこやかセミナー「要介護にならないために

～知っておきたい慢性腎臓病とサルコペニア・フレイル～】

日 時 7月28日（金） 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 腎臓・高血圧内科主任部長 林 晃正
参加費 無料



【第48回 万代・夢寄席「三代目桂春団治一門会」】

日 時 7月31日（月） 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 桂 壱之輔 氏、桂 治門 氏
入場料 無料

【作品展（コスモス会）の開催と作品の募集について】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月30日から11月1日の間、本館3階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格 患者さんとその家族及び病院関係者
応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務・人事グループへお問い合わせください。（連絡先：06-6692-1201 内線2313）
応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか
作品受付日 10月30日（月）午前9時～10時
作品返却日 11月1日（水）午後4時～5時



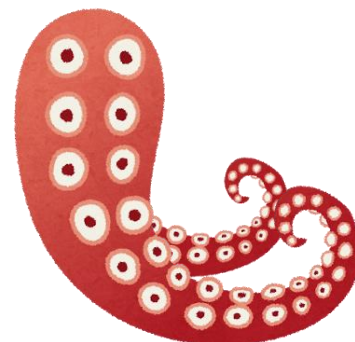
～ちょっとおいしい話～

梅雨に入るとじめじめとし、梅雨が明けると蒸し暑さがやってきますね。このような時期は気温の変化などで体調を崩しがちです。そんな時期を元気に過ごすためにはお酢を使ったお料理がおすすめです。

今回は旬の食材を使った「たこのさっぱりマリネ」をご紹介します。

○ 材料 ○ (2人分)

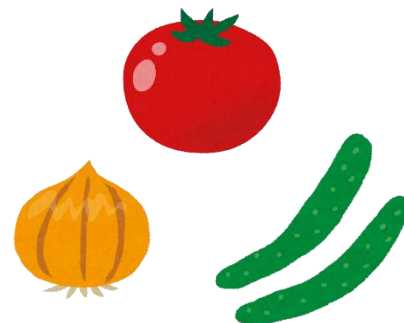
・ゆでたこ	150g
・きゅうり	1/2本
・トマト	1/2個
・たまねぎ	1/4個
<マリネ液>	
・オリーブオイル	大さじ1
・レモン汁	大さじ1
・酢	大さじ1
・砂糖	大さじ1/2
・塩こしょう	少々



(1人分) エネルギー：159kcal たんぱく質：16.9g 脂質：6.5g 食塩相当量：0.6g

○ 作り方 ○

- ① たこは薄切りにする。
- ② きゅうり、トマトは角切り、たまねぎはみじん切りにする。
- ③ ボウルにマリネ液を入れて、食材を漬け込む。
- ④ 冷蔵庫で冷やす。
- ⑤ お皿に盛って出来上がり。



たこは身が鮮やかで、足が内側にしっかり巻いているものを選ぶと良いですよ。たこにはタウリン、お酢にはクエン酸が含まれており、疲労回復の効果が期待されています。

マリネとは肉類、魚類、野菜などの材料を酢、レモン汁、ワイン、油、さらに風味をよくするために香辛料や香味野菜などを加えたお料理です。使う食材やマリネ液の材料を変えることで様々な味を楽しむことができます。マリネは短時間で作ることができて、保存がきくので、作り置きにもおすすめです。

管理栄養士 池治奈緒

今月のきらりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きらりと光る看護”を行っている
当センターの看護師を紹介させていただくコーナーです。

1階外来 渡部幹子看護師長



私が所属する外来部門を紹介させていただきます。

外来には1日平均 約 1,300 名の患者さんが来院されます。

診療・検査を滞りなく受けて頂くために玄関に到着された時点から、看護師・コンシェルジュ・クラーク・事務部門等が連携し、きめ細かな対応に心がけています。

外来は、地下1階から2階までの広範囲に渡っており、移動に苦慮される方もおられるため、車椅子・バギーカーを常設し、ご不自由なく利用して頂けるようにしています。また患者さんは、初めて来院される方から毎月来院される方、1年ぶりの方などと様々であり、どの方も心細い思いをされていると考えています。そこで私達外来看護師は、患者さんが安心して診療・在宅療養が継続できるような環境の調整や支援を行っています。更に診療が円滑に進むために必要な検査が済んでいるかの確認や、ご自宅での体調管理が十分に行えているかについて療養指導を取り入れています。

その他に、糖尿病透析予防外来・助産師外来・ストーマ外来・リンパ浮腫外来・摂食嚥下障害ケア外来など、看護師が行う看護専門外来も行っています。

外来を利用される患者さん・ご家族が、少しでも安心して医療を受けてご自宅での療養が健やかに送って頂けるよう、外来看護師一同で取り組んでいます。



【面会時間を変更しました！】

平成 29 年 4 月 1 日より、一般病棟の面会時間を下記の通り変更しました。
面会の方は、病棟ナースステーションにて面会カードをご記入ください。

病棟	変更前		変更後	
	曜日	面会時間	曜日	面会時間
下記以外の病棟	月曜日～金曜日	午後 3 時～午後 7 時	平日・休日	正午～午後 8 時
	土曜日・日曜日・ 祝日	午後 1 時～午後 7 時		
小児病棟 (5 階東)	平日・休日	午後 3 時～午後 7 時	変更なし	
産婦人科病棟 (5 階西)				
救急病棟 (1 階)				
ICU・CCU・SCU	面会を制限していますので、直接お問い合わせください。			

掲示板

【公共交通機関ご利用のお願い】

大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）の建設工事に伴い、南側平面駐車場を閉鎖し、中央館南側の立体駐車場及び北側駐車場をご利用いただいております。

駐車スペースが限られるため、入庫するまでに時間がかかる場合があります。

大変ご不便をおかけいたしますが、来院の際には余裕をもってお越しいただくか、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/access.html>

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアやクリニック라운の訪問を受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。また、看護学生や保育学生が話し相手や遊び相手のボランティアをしています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号	06-6692-2800	(専用電話回線)
	06-6692-2801	(専用電話回線)
相談日時	月曜日～金曜日	午前9時～午後5時
	(年末年始、土・日・祝日除く)	
相談対象	医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等	
相談員	看護師	

【診察予約変更センター 9診療科において

診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

電話番号	06-6692-1201(代表)にダイヤルして	
	「予約変更センター」と言ってください。	
受付時間	午後3時～午後5時(平日のみ)	
対象診療科	呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科	
	皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 神経内科	
	脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科	

【入院治療費や外来での検査費用の

概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどでCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

【IVR センターの診療のご案内】

“IVR”とは、聞き慣れない言葉だと思います。Interventional Radiology、直訳しますと放射線による介入手技ということになりますが、レントゲンを見ながらいろいろな処置をするということです。主に血管内の「カテーテル治療」を行います。その他にも様々な治療・処置を行います。

まず、血管内カテーテル治療として、肝細胞癌(HCC)に対する抗癌剤を用いた動注化学塞栓療法(TACE)を行っています。これまでリピオドールを用いた conventional TACE を行ってきましたが、2014 年から薬剤溶出性ビーズ(DEB; Drug Eluting Bead)を導入し、より患者さんに負担の少ない治療法として DEB-TACE を施行しています。

頭頸部腫瘍に対しては、耳鼻咽喉・頭頸部外科と歯科口腔外科と連携し、抗癌剤動注療法を行い、産婦人科との連携では、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)を、泌尿器科との連携では、多発性嚢胞腎の症例に対して、腎動脈の塞栓術を施行します。腹部膨満感、高血圧などに良好な効果を得ることができます。また、原発性アルドステロン症に対する副腎静脈採血も施行しています。

また、当大阪急性期・総合医療センターは高度救命救急センターを併設していますので、緊急性を必要とする様々な症例にも対応しています。消化管出血として多いのは結腸憩室出血で、大腸末梢の細い動脈に塞栓を施行します。肝硬変の患者様の胃静脈瘤破裂に対しては、腎静脈あるいは門脈からアプローチして、静脈瘤の硬化を行います(BRTO, PTO)。

近年、喀血の患者さんも急増しており、気管支動脈塞栓術 (BAE) を行っています。その他、血管奇形 (AVM/AVF)、内臓動脈瘤なども行っています。また、カテーテル治療以外には、膿瘍のドレナージや深部腫瘍の生検 (CT 下、コーンビーム CT 下、エコー下) なども行います。

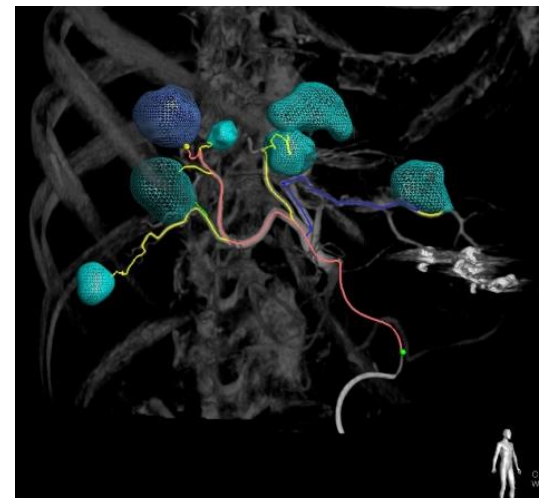
設備としては、Philips 社製の最新の IVR システムを導入しています。血管造影下のコーンビーム CT を撮像したり、また安全、適確な穿刺をサポートしたりすることが可能となり、術の成功および安全に大きく寄与しています。また、看護師、放射線技師ともに経験豊富なスタッフで構成されており、手技の成功に大きく役立っています。

IVR センター外来は、毎週木曜日午後に予約を受け付けています。

お急ぎの場合は、直接ご連絡頂ければ、可能な限り迅速に対応させていただきます。当科での処置を行う場合には、関係各科に依頼し、協力して治療を行うこととなります。御気軽にご相談にきて頂ければ幸いです。何卒、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



手技中の様子(XperGuide 下生検)



EmboGuide による
腫瘍動脈の自動抽出

IVRセンター長 杉原 英治

今月の風景



【コメント】

今月の風景は、京都の鴨川と鴨です。河原をよちよちと歩く様子は愛くるしく、心が和むひとときでした。

(匿名希望「鴨川と鴨」(撮影地：京都府鴨川))

編集後記

今月の表紙は、救急診療科の森 隆比古医師による「長居植物園大池のハス」で、当センター創立 60 周年記念式典（平成 27 年 6 月 20 日）の翌日午前に撮影されたものです。大池に群生するハスから花茎が立ち上がり、清らかな花が咲き始めました。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。